



鎮守の森に囲まれた吉田八幡神社

## 空海の母が祈願した神社と 殿様の病気を治した神社

上吉田町の満賀池の北の道を入れていくと吉田八幡神社があります。この神社は創建当時、良田郷と記される一帯の氏神様で、その後上吉田、下吉田、稲木の三つの村の産土神となりました。境内には古墳があり、その上に神社の本殿が建っています。奈良時代から存在した由緒のある神社と考えられ、弘法大師空海の母・玉寄御前がここに祈願して、無事に空海を生んだと伝えられています。

毎年秋の大祭では、鎮守の森に囲まれた境内に四つの獅子組がそろい、華やかな獅子舞を披露します。

吉田八幡神社のすぐ北にある石神神社は、慶長（1596～1615）年間に志々島からご神体の石が下吉田村の下処にやってきたと伝わっています。その後、この場所に移ってきたのは宝暦11（1761）年で、寛政9（1797）年頃に整備が終わりました。

殿様の病気平癒がかなったお礼に丸亀京極家の源高中公から寛政9（1797）年と文化7



石神神社

（1810）年に絵馬が2額奉納されました。また京極家臣団23名による手洗石が残されています。

終戦後は御神楽の前後に青年団が芝居を上演し、浪曲大会があり、露店が20～30もならび、店先の灯りが印象的でした。当時は石神名物の桃が飛ぶように売っていました。

かつては旧金毘羅街道沿いに鳥居がありましたが、現在は境内に移されています。柱には郡家村・大麻村・中村等広域の各村の庄屋様の名前などがあり、地元のみならず広く信仰を集めた石神神社です。



■下吉田町字本村東320  
●東部小学校から徒歩7分